

# 積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和5年3月1日 No. 54 文責：佐野紳二

## 授業参観・学年部会 ③

2月24日（金）、6年生の授業参観・学年部会が行われました。今回もたくさんの保護者の皆様にご参加をいただき、ありがとうございました。

授業では、前半は6年間の思い出やこれから頑張りたいこと、家族に感謝したいことなどをまとめたスライドの発表、後半は合奏「カイト」の演奏とお父さん・お母さんへの手紙のプレゼントが行われました。小学校最後の授業参観ということで、授業の内容も担任と子どもたちが一緒に考え、創り上げたそうです。スライドの写真選びや原稿の作成など、すべて自分たちで行ったということで、子どもたちが6年間の学校生活の中でいろいろな力をつけてきたことがよく分かる発表でした。器楽合奏の「カイト」は、ドレミファ発表会に向けて練習してきたものを、今回改めて練習し直し、発表してくれました。忙しい中での練習はきっと大変だったと思いますが、6年生の団結力が感じられる素晴らしい演奏でした。



## 6年生の発表スライドより

6年間で楽しかったことベスト3

1位：修学旅行    2位：林間学校    3位：スキー教室

6年間で頑張ったことベスト5

1位：字を綺麗に書く    2位：体育    3位：勉強    4位：国語    5位：算数

中学校で頑張りたいことベスト5

1位：部活    2位：勉強    3位：友だちづくり    4位：あいさつ    5位：テスト

おうちの人に感謝したいことベスト5

1位：食事    2位：家事    3位：習い事    4位：お金    5位：育ててくれたこと

すべての学年の授業参観・学年部会が終わりました。それぞれの授業参観・学年部会にとっても多くの保護者の皆様に参加していただいたことを、大変ありがたく思っています。昨年度はなかなか思うように実施できなかった授業参観が、今年度は何度か実施することができました。保護者の皆様のご協力に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

## 今日から3月です ひな祭りの由来

早いもので、今日から3月です。今週は暖かい日が多く、春の訪れを感じることができる時期になってきたことを嬉しく思う反面、6年生とのお別れが近づいてきて、寂しく思ったりもしています。

今週末の3月3日はひな祭り、桃の節句です。山梨県など寒冷地では4月3日にひな祭りを行うところも多いので、家庭にもよるかと思いますが、女の子のいる家では、もうひな人形が飾られているところも多いのではないのでしょうか。ということで、今日はひな祭り・桃の節句について調べてみました。



### ひな祭りの起源 - 上巳の節句

ひな祭りの起源は古く、平安時代と考えられています。もともとは、上巳（じょうし）と呼ばれる五節句のひとつでした。起源は、災厄を払うために中国で行われていた行事だと言われています。なお、五節句は毎年5度、以下の日に訪れます。

1月7日：人日（じんじつ）	3月3日：上巳（じょうし）
5月5日：端午（たんご）	7月7日：七夕（しちせき）
9月9日：重陽（ちょうよう）	



上記の節句はどれも季節の変わり目です。古くから季節の変わり目は邪気が入りやすいと考えられてきました。そのため上巳の節句では、川に身を浸し、邪気を払う習慣が生まれたのです。その風習が日本に入ってきた際、紙で作った人形を川に流して邪気払いをしたことがひな人形のルーツです。人形を川に流す行事は、現在の流し雛につながっています。ただし、流し雛の原型は諸説あり、文献も少ないためはつきりとはしていません。源氏物語では邪気払いをした人形を船に乗せ、海へ流したという記述があるため、平安時代以前からある文化だとも考えられています。

### 人形を飾るようになったのは江戸時代から



時代が進むにつれて技術が上がり、紙の人形は現在の豪華で緻密なひな人形へと形を変えました。同時に、貴族の間で流行っていたおままごと遊びが融合され、現在の人形を飾る形に落ち着いたと言われています。

現在のように人形を飾る風習になったのは、江戸時代以降のお話。江戸時代に立雛（たちびな）と坐雛（すわりびな）が生まれ、以降は少しずつ形を変えながら、現在の「女の子の健やかな成長を祈る行事」へと変化していきました。

### 「上巳の節句」が「桃の節句」になったのは？

桃の節句という言葉は、上巳の節句で行われていた厄払いに、桃の花が使われていたことが由来です。その伝統が引き継がれ、桃の節句と呼ばれるようになりました。また、上巳の節句の時期は、桃の花が咲く季節なので、桃の花を飾るようになったとも言われています。



どうやら、ひな祭りが現在の形になったのは江戸時代のようなようです。それ以来、ひな祭りは女の子の健やかな成長を願う行事となり、現在に至っています。みなさんのお家に飾られているひな人形（男の子は5月に飾られる武者人形やこいのぼり）には、お父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの思いが込められていることを知っておくことも大切なことだと思います。きっとみなさんの成長を、そういった人たちの「思い」が支えてくれると思います。